

令和元年度 高谷中学校ブロック

第2回義務教育学校の設置に関する検討委員会

令和2年2月19日（水）17時00分
市川市立高谷中学校

第2回検討委員会の主な内容

- 義務教育学校設置に係る課題の共通理解
- 今後の協議の進め方についての共通理解

1 委員長挨拶

2 報告

3 協議

- （1）義務教育学校の設置に係る課題について
- （2）今後の協議の進め方について

4 その他

I 報告

1 市の計画の中での位置づけについて

(1) 市川市基本構想（計画期間：2001 年～2025 年） 5 つの基本目標

○真の豊かさを感じるまち

- ・一人ひとりの個性を尊重し、豊かな感性と創造力を持った子どもを育てる教育環境の整備

(2) 市川市基本計画（第 2 次）（計画期間：2011 年～2021 年） 45 の施策体系

○子どもの教育

- ・幼児期からの充実した教育環境の整備
- ・一人ひとりに応じた教育的支援

2 各学校の児童生徒数推計について

(1) 児童生徒数・学級数推計

※令和1年度は実数(5月1日現在)

※学級数は普通学級数

※入学者割合はH29～H31の平均

	学校名	入学者割合		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
15	信篤小学校	83.1%	児童数	731	710	697	676	685	676	670	659	639	610	594	586	580	576	571
			学級数	24	22	22	21	22	22	22	22	20	18	18	18	18	18	18
20	二俣小学校	74.1%	児童数	236	234	231	235	232	236	245	230	224	216	216	214	212	210	209
			学級数	10	10	10	10	10	10	11	10	10	9	8	8	8	8	8
10	高谷中学校	68.4%	生徒数	457	450	448	401	381	361	333	300	273	263	263	253	241	236	230
			学級数	14	13	13	12	12	12	10	10	9	9	9	9	9	9	8

(9学級を下回る中学校)

○高谷地区における今後の住宅供給等の見通しについて

- ・都市計画道路 3・4・13 号については、昭和 39 年 9 月 14 日に都市計画決定しているものの、未だ事業化には至っていません。
- ・市では、早期事業化に向け、県に対し、継続的に要望を行うとともに、開通後の沿道の街づくりの考え方を整理しました。その中で、都市計画道路 3・4・13 号沿道の原木 2 丁目、高谷 3 丁目については、道路整備等の必要な条件が整った場合、周辺環境と調和した土地利用を誘導することとしており、一定の住宅立地需要を見込んでいます。
- ・しかしながら、都市計画道路 3・4・13 号の具体的な整備時期が明らかになっていないことから、現段階では、年齢別人口の加齢に伴って生ずる年々の変化を死亡、出生、人口移動といった要因ごとに計算して求める「コーホート要因法」により、児童生徒数を推計しています。
- ・但し、児童生徒数の増減は、学校の運営や施設等に大きな影響を与えることから、住宅供給等の動向を見極めながら、適切に対応していきます。

3 施設分離型による義務教育学校運営の事例について

(1) 小中一貫教育、小中一貫校の研究・開発に取り組む自治体

○小中一貫教育全国連絡協議会（正会員）

（令和元年 11 月）

No	所在地	会員名	No	所在地	会員名
1	北海道	三笠市教育委員会	28	静岡県	吉田町教育委員会
2		北広島市教育委員会	29	三重県	名張市教育委員会
3	青森県	むつ市教育委員会	30	滋賀県	長浜市教育委員会
4		東通村教育委員会	31		高島市教育委員会
5		三戸町教育委員会	32	京都府	京都市教育委員会
6	岩手県	大槌町教育委員会	33		京丹後市教育委員会
7		普代村教育委員会	34	大阪府	堺市教育委員会
8	宮城県	登米市教育委員会	35		池田市教育委員会
9	秋田県	小坂町教育委員会	36		寝屋川市教育委員会
10	山形県	新庄市教育委員会	37		箕面市教育委員会
11		南陽市教育委員会	38		柏原市教育委員会
12	茨城県	水戸市教育委員会	39		東大阪市教育委員会
13		つくば市教育委員会	40		能勢町教育委員会
14	栃木県	宇都宮市教育委員会	41	兵庫県	姫路市教育委員会
15		小山市教育委員会	42	奈良県	奈良市教育委員会
16	埼玉県	入間市教育委員会	43		明日香村教育委員会
17		八潮市教育委員会	44	島根県	松江市教育委員会
18	千葉県	鴨川市教育委員会	45	広島県	呉市教育委員会
19	東京都	江東区教育委員会	46		府中市教育委員会
20		品川区教育委員会	47	高知県	梼原町教育委員会
21		渋谷区教育委員会	48	福岡県	飯塚市教育委員会
22		三鷹市教育委員会	49		宗像市教育委員会
23		武蔵村山市教育委員会	50		芦屋町教育委員会
24	新潟県	三条市教育委員会	51	宮崎県	日向市教育委員会
25	長野県	茅野市教育委員会	52		えびの市教育委員会
26		信濃町教育委員会	53	熊本県	八代市教育委員会
27	岐阜県	白川村教育委員会	54	鹿児島県	薩摩川内市教育委員会

(2) 施設一体型の義務教育学校

義務教育学校(施設一体型)

	都道府県	学校名
国立	福井県	福井大学教育学部付属義務教育学校
	京都府	京都教育大学付属京都小中学校
	島根県	島根大学教育学部付属義務教育学校
公立	北海道	伊達市立大滝徳舜警学校 占冠村立トマム学校 斜里町立知床ウトロ学校 湧別町立芭露学園 白糠町立庶路学園 中標津町立計根別学園
	岩手県	大槌町立大槌学園
	宮城県	名取市立関上小中学校
	秋田県	井川町立井川義務教育学校
	山形県	新庄市立萩野学園 戸沢村立戸沢学園
	福島県	郡山市立西田学園
	茨城県	水戸市立国田義務教育学校 つくば市立春日学園義務教育学校 つくば市立秀峰筑波義務教育学校 つくば市立学園の森義務教育学校 つくば市立みどりの学園義務教育学校 土浦市立新治学園義務教育学校 桜川市立桃山学園 河内町立かわち学園
	栃木県	小山市立絹義務教育学校 那須塩原市立塩原小中学校
	埼玉県	春日部市立江戸川小中学校
	千葉県	市川市立塩浜学園 成田市立下総みどり学園
	東京都	品川区立日野学園 品川区立伊藤学園 品川区立八潮学園 品川区立荏原平塚学園 品川区立品川学園 品川区立豊葉の杜学園 江東区立有明西学園
	神奈川県	横浜市立義務教育学校霧が丘学園 横浜市立義務教育学校西金沢学園
	新潟県	三条市立大崎学園
	石川県	珠洲市立宝立小中学校 珠洲市立大谷小中学校
	長野県	信濃町立信濃小中学校 大町市立美麻小中学校
	岐阜県	羽島市立桑原学園 白川村立白川郷学園
	静岡県	伊豆市立土肥小中一貫校
	三重県	津市立みさとの丘学園
	滋賀県	長浜市立余呉小中学校

義務教育学校（施設一体型）

	都道府県	学校名
公立	京都府	亀岡市立亀岡川東学園 京都大原学院
	大阪府	池田市立ほそごう学園 守口市立さつき学園 羽曳野市立はびきの埴生学園 和泉市立南松尾はつが野学園 東大阪市立義務教育学校くすは縄手南校 東大阪市立義務教育学校池島学園
	兵庫県	神戸市立義務教育学校港島学園 姫路市立白鷺小中学校
	和歌山県	和歌山市立伏虎義務教育学校
	鳥取県	鳥取市立湖南学園 鳥取市立福部未来学園
	島根県	松江市立義務教育学校八束学園
	広島県	府中市立府中学園 府中市立府中明郷学園 竹原市立吉名学園 福山市立鞆の浦学園
	高知県	高知市立義務教育学校行川学園 高知市立義務教育学校土佐山学舎
	福岡県	八女市立上陽北浜学園 宗像市立大島学園
	佐賀県	大町町立小中一貫校大町ひじり学園 多久市立東原庫舎東部校 多久市立東原庫舎中央校 多久市立東原庫舎西溪校 玄海町立玄海みらい学園
	長崎県	佐世保市立浅子小中学校 佐世保市立黒島小中学校
	熊本県	高森町立高森東学園義務教育学校 産山村立産山学園
	大分県	大分市立碩田学園
	鹿児島県	出水市立鶴荘学園 南さつま市立坊津学園 薩摩川内市立東郷学園義務教育学校

(3) 施設分離型の義務教育学校

義務教育学校（施設分離型）

	都道府県	学校名	特徴
公立	茨城県	笠間市立みなみ学園義務教育学校	○5－4制 ・1～5年生 小学校校舎 ・6～9年生 中学校校舎 ※約800m離れている ○小4から一部教科担任制（音楽、図工等） ・小6から教科担任制 ○特例教科 ・小1から英語や郷土学習を実施
	大阪府	東大阪市立義務教育学校 くすは縄手南校 東大阪市立義務教育学校 池島学園	○6－3制 ・1～6年 小学校校舎 ・7～9年 中学校校舎 ○6年生から一部教科担任制 ・小学校校舎内で実施 ○独自の教科 ・「夢TRY科」を実施 ・防災、金融、社会保障など
	兵庫県	姫路市立四郷学院	○5－4制 ・1～5年生 小学校校舎 ・6～9年生 中学校校舎 ※100m離れている
	鳥取県	鳥取市立鹿野学園	○5－4制 ・1～5年生 小学校校舎 ・6～9年生 中学校校舎 ○独自の教科 ・「表鷺科」を実施 ・地域にある演劇、伝統芸能、工芸など

4 系統性・連続性を重視した学習

○ 9年間を見通した指導計画を作成して、系統性・連続性を重視した学習を行うことが出来ます。

塩浜学園 年間指導計画(簡略版)			教科名		理科		※ 各学年ごとに単元名を記入しましょう。 ※ 全学年が記入したあと、つながり等を考えて、入れ替えを検討しましょう。 ※ 各セル5段ずつ記入できます。(さらに3分割することも可能です。) ※ 右の欄は、各教科の特性に応じて活用してください。													
			1年		2年		3年		4年		5年		6年		7年		8年		9年	
4							・しぜんのかんさつをしよう ・植物をそだてよう(1) たねまき	8 ・季節と生き物(春) 5			8 ・天気と情報(1) 天気の変化	9 ・私たちの生活と環境 ・学習の準備	1 ○身近な生物の観察 2 ○植物の生活と種類 植物の体のつくりとはたらき 4			9 ○化学変化と分子原子 ・物質の成り立ち ・いろいろな化学変化 12			○運動とエネルギー ・力のはたらき 12	
5							・こん虫をそだてよう ・植物をそだてよう(2) 葉・茎・根	8 ・天気と気温 9			8 ・生命のつながり(1) 植物の発芽	9 ・ものの燃え方 ・植物の成長と日光の関わり	5 ・植物の体のつくりとはたらき 5			9 ・化学変化と物質の質量 ・化学変化と熱の出入り 12			・物体の運動 ・仕事とエネルギー 12	
6							・ゴムや風でものをうごかさう	7 ・電池のはたらき ・とどこめた空気や水			9 ・生命のつながり(2) 植物の成長 5 ・生命のつながり(3) メダカのたんじょう	4 ・体のつくりとはたらき ・植物の成長と水の関わり 8	11 ・植物の体のつくりとはたらき 2 ・植物のなかまわけ ○物質のすがた ・いろいろな物質 12			○動物の生活と生物の進化 ・細胞のつくりとはたらき 12 ・生命を維持するはたらき 16			・仕事とエネルギー 16	
7							・植物をそだてよう(3) 花 ・じゅうけんきゅう	4 ・季節と生き物(夏) 星や月(1) 星の明るさや色 ・自由研究 2			4 ・生命のつながり(3) 人のたんじょう 自由研究 2	6 ・生物どうしの関わり 2 ・自由研究	3 ・いろいろな物質 5 1			6 ・行動のしくみ ・動物のなかま 6			○生命のつながり ・生物の成長とふえ方 8	
9							・じゅうけんきゅう ・動物のすみかをしらべよう	1 ・季節と生き物 5 ・(夏の終わりに) ・私たちの体と運動			2 ・生命のつながり(5) 植物の実や種子の働き 7	8 ・月と太陽	9 ・気体の発生と性質 ・物質の状態変化 9			9 ・生物の進化 9			・遺伝の規則性と遺伝子 ○自然界のつながり ・生物どうしのつながり 12	
#							・植物をそだてよう(4) 花がさいたあと ・太陽のうごきと地面のようすをしらべよう	4 ・星や月(2) 月の動き 10			2 ・天気と情報(2) 台風と天気の変化 6	6 ・水よう液の性質 12	12 ・物質の状態変化 水溶液 ○身近な物理現象 光の性質 12			○電流とその利用 ・電流と回路 2			・自然界を循環する物質 ○化学変化とイオン 水溶液とイオン 16	
#							・太陽のひかりをしらべよう	6 ・季節と生き物(秋) わたしたちの理科室 ものの温度と体積 9			4 ・流れる水のはたらき 10 ・土地のつくりと変化 10	10 ・光の性質 音の性質 力と圧力 12			12 ・電流と磁界 12			・化学変化と電池 酸アルカリとイオン 16		
#							・ものの重さをしらべよう	6 ・もののあたまり方 9			9 ・電磁石の性質 14	14 ・てこのはたらき 11	11 ・力と圧力 9			9 ・電流の正体 9			○地球と宇宙 天体の1日の動き 天体の1年の動き 12	
1							・豆電球にあかりをつけよう	7 ・星や月(3) 星の動き			3 ・もののどけ方 14	14 ・電気の性質とその利用 8	8 ・力と圧力 ○大地の変化 火山 9			9 ○気象のしくみと天気の変化 気象観測 大気中の水蒸気の変化 9			・月と惑星の運動 太陽系と銀河系 12	
2							・じしゃくのふしぎをしらべよう	6 ・季節と生き物(冬) すがたをかえる水 11			4 ・ふり子の動き 11	10 ・電気の性質とその利用 5	5 ・地震 地層 5			12 ・前線の通過と天気の変化 12			○地球の明るい未来のために 自然環境と人間の関わり 暮らしを支える科学技術 16	
3							・おもちゃショーをひらこう	2 ・自然のなかの水 5			5 ・6年の学習のじゅんぴ 2	2 ・生物と地球環境 4	4 ・大地の変動 6			6 ・日本の気象 8			・大切なエネルギー資源 8	
			総時数 0	総時数 0	総時数 90	総時数 102	総時数 105	総時数 105	総時数 105	総時数 105	総時数 140	総時数 140								

○義務教育学校は組織が一つであることから、前期課程・後期課程の教員が一緒になって、9年間の学びを見通し、指導の改善を図る取り組みが進められるようになります。

〔授業研究会での一コマ〕系統性・連続性を重視した協議が行われています



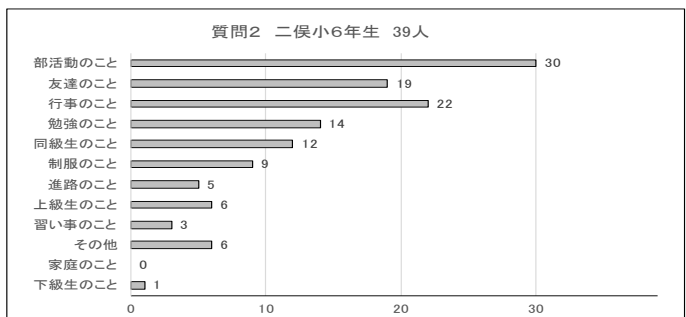
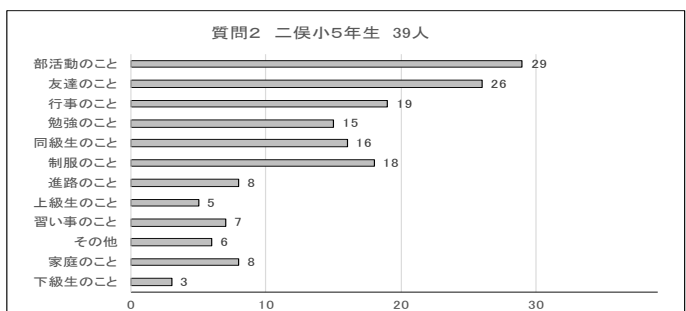
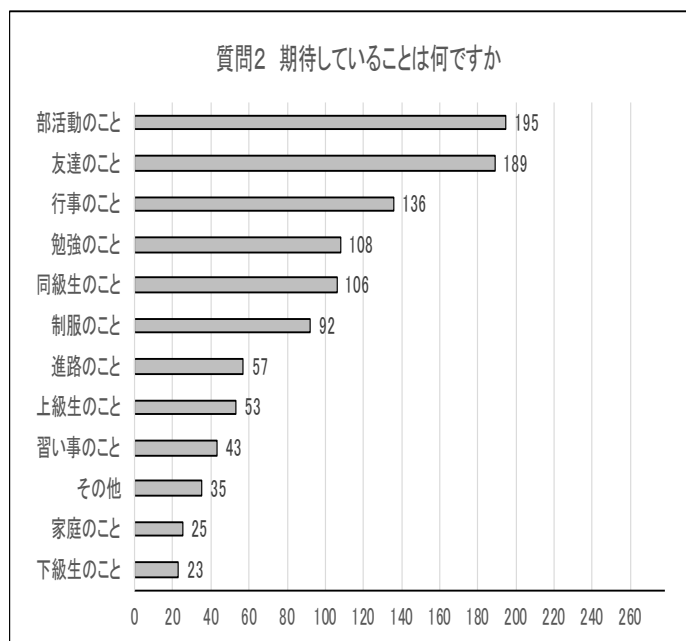
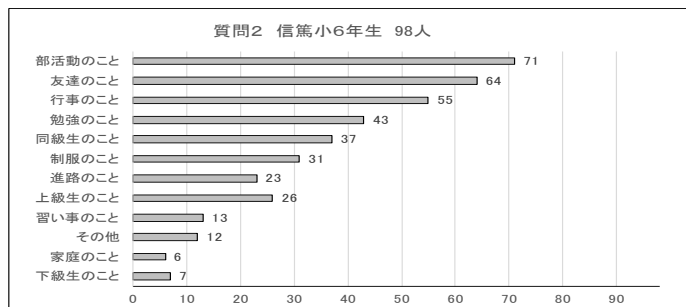
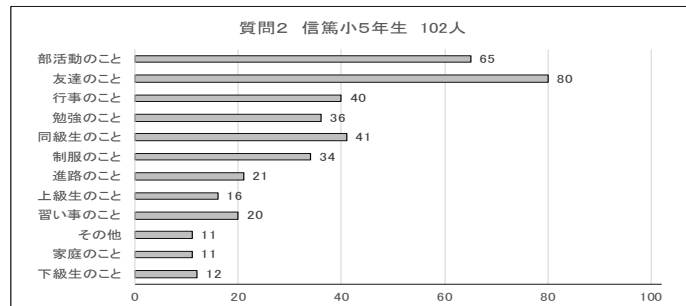
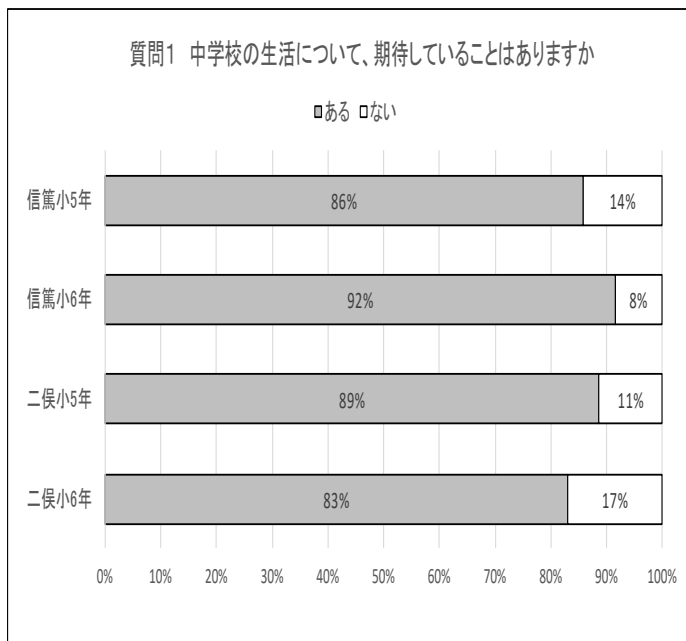
協議会



Ⅱ 協議

1 児童アンケートの結果

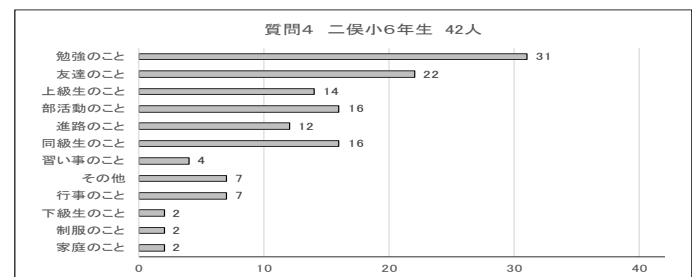
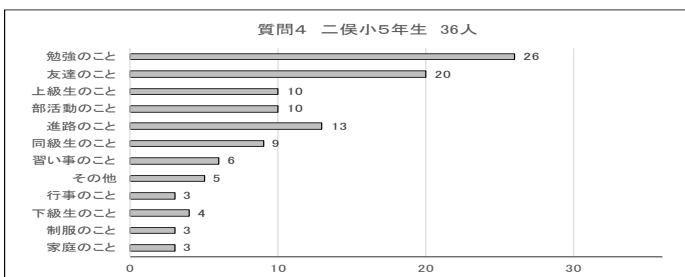
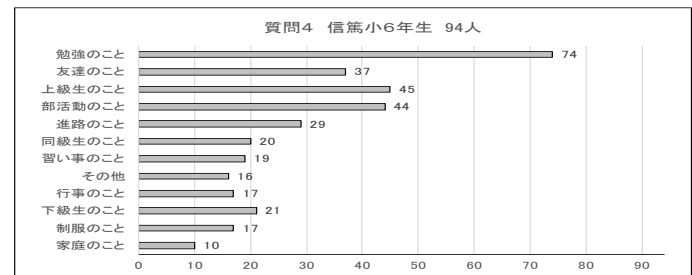
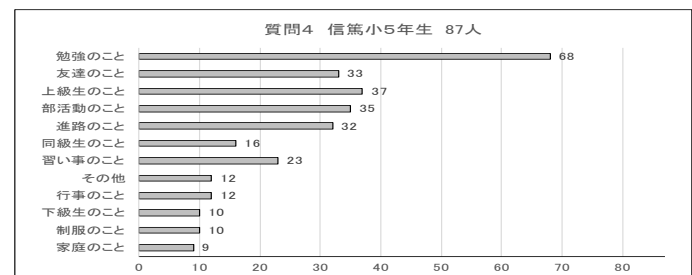
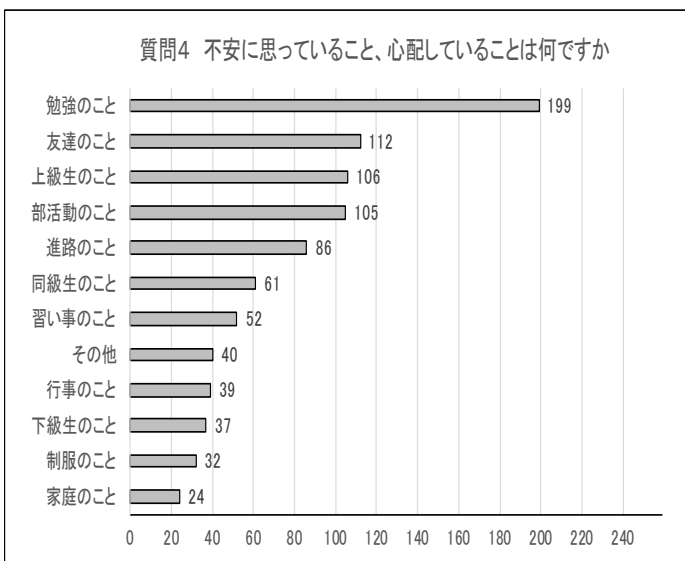
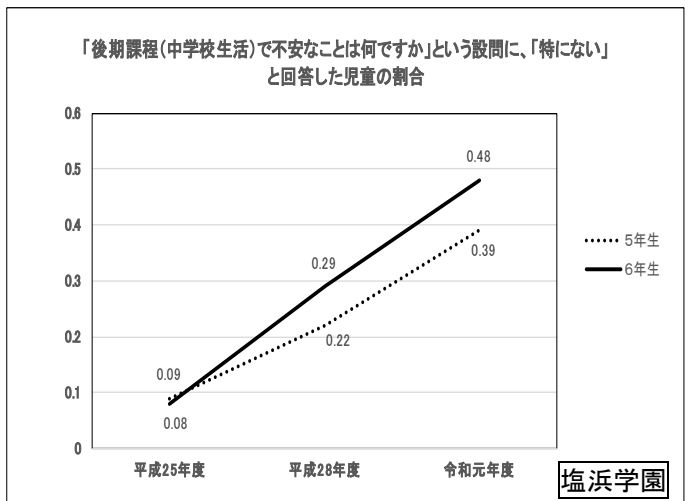
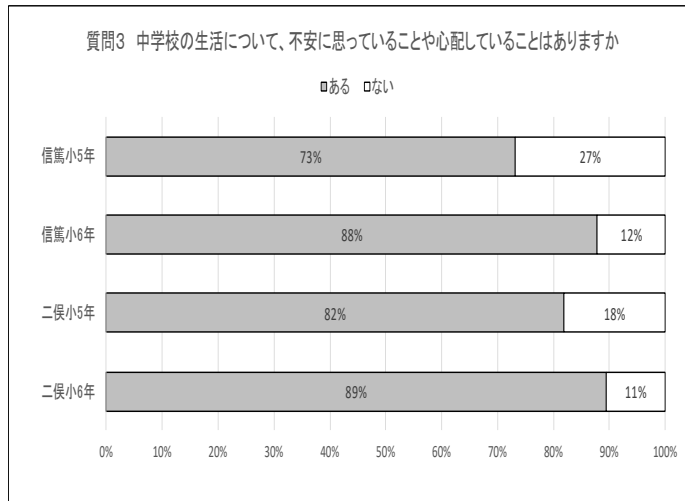
(1) 中学生活への期待



○期待していることが「ない」理由

- ・大体想像（予想）がつくから
- ・兄に色々教えてもらったから（兄弟が高谷中だったから）
- ・中学のことを知らないから
- ・中学校のことは考えていない
- ・今はどうでもいいから
- ・中学校は大変そうだから
- ・学校が楽しくなさそうだから
- ・生活などで少し怖いところがある。いじめが怖い。
- ・勉強が多そう（大変そう、難しそう）
- ・勉強も大変で授業のたびに先生が変わるのでかなり不安
- ・部活と勉強の両立が大変そうだから
- ・定期テストで自分の順位が分かってしまうのがいやだから
- ・友達も今までより減るか少し増えるかだと思うから
- ・友達ができるか
- ・小学校の生活と少し変わるから
- ・休み時間が少ない
- ・学校までの道のりが長い
- ・なにも習い事をしていないから
- ・かわらないと思う

(2) 中学生活への不安や心配

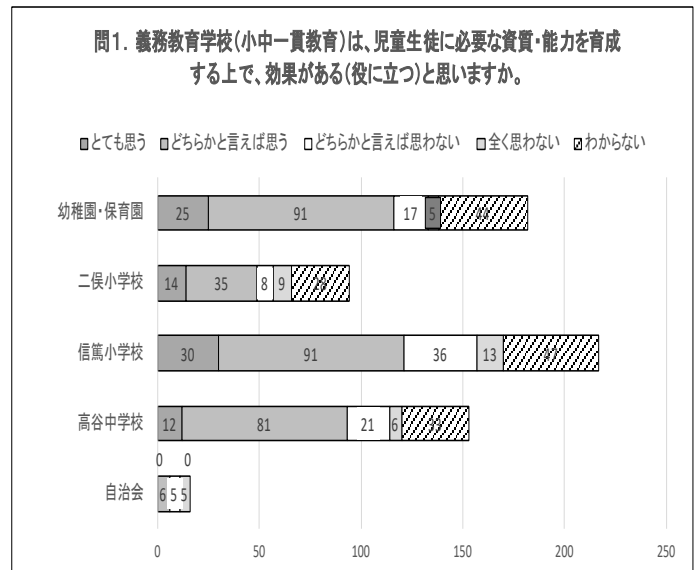
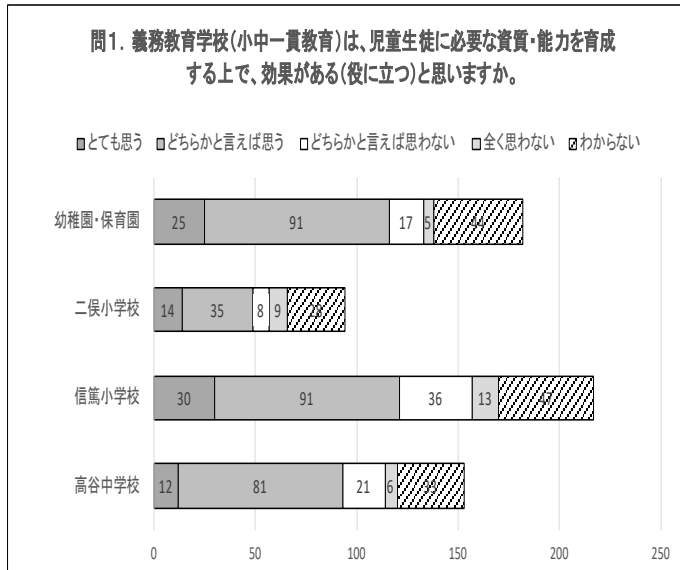
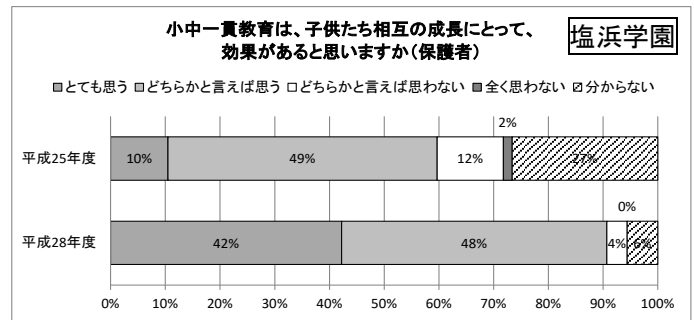
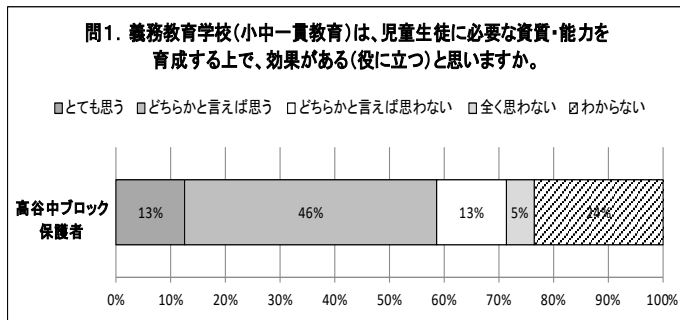


○不安に思っていることや心配していることが「ない」理由

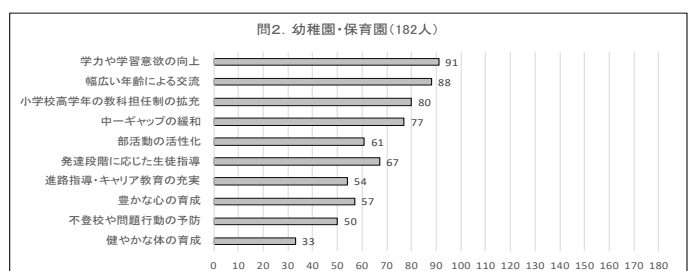
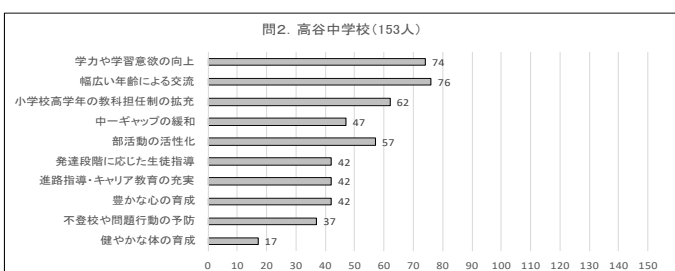
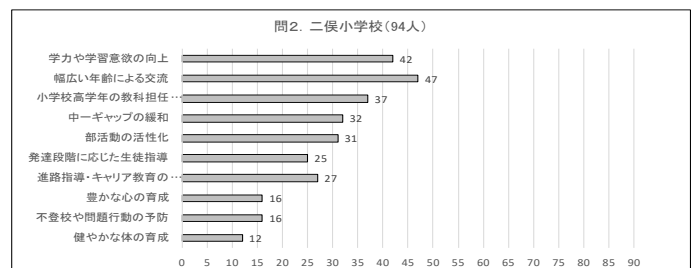
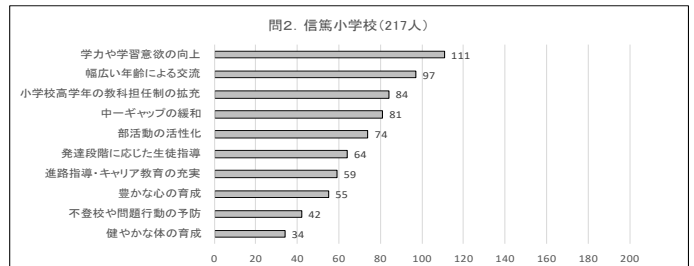
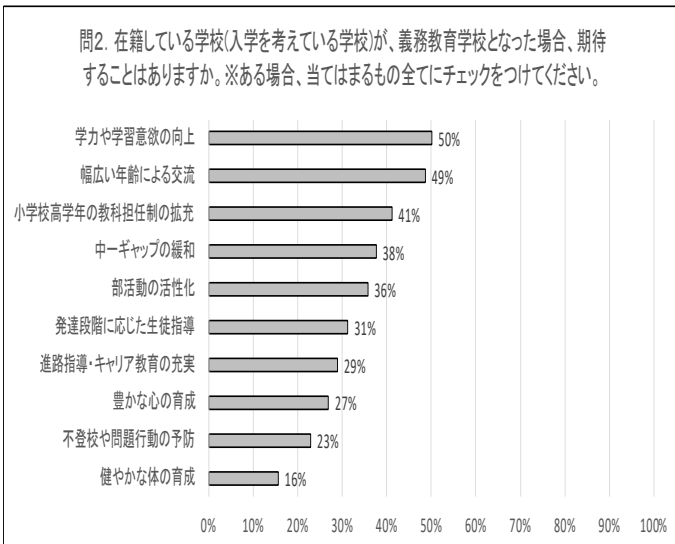
- ・面白そうだから。楽しみにしているところがたくさんある
- ・姉がいるから全部知っている
- ・仲のいい人が沢山いるから
- ・友達もいっぱいできると思い楽しそうだから
- ・小学校より勉強が難しくなるだけで、他になにもかわらないと思う
- ・普通に良いから
- ・中学校を楽しくやっていきたいから
- ・どうせいつもの変な校則を作るのでしょ
- ・特に気にしていない
- ・兄がいてだいたいわかるから
- ・いつでも相談できる人がいるから
- ・まだわからない、何かあれば相談をすればいいから
- ・今までと変わらないから
- ・進学してから6年間も時間がありなれることもできるから
- ・先の事はわからないから
- ・二年後だから心配はない
- ・まだ考えられないから
- ・中学校が楽しそうだから
- ・何回か行ったことがあるから
- ・友達がたくさんいるから

2 保護者アンケートの結果

(1) 義務教育学校(小中一貫教育)について

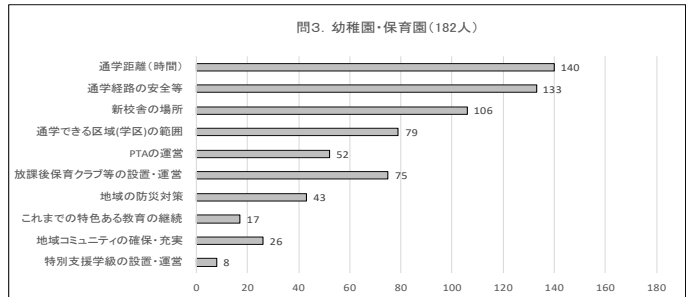
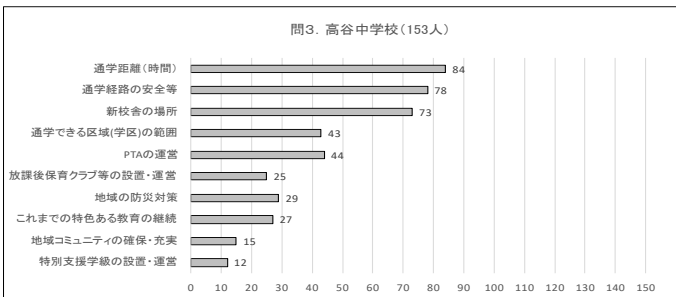
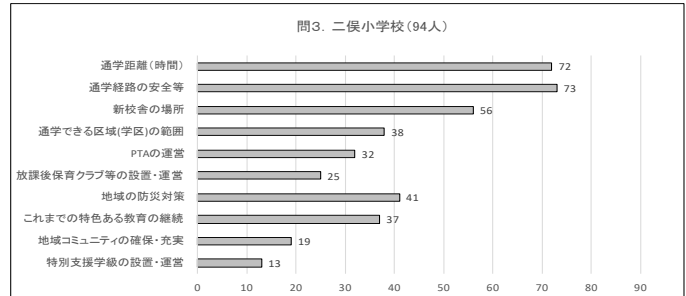
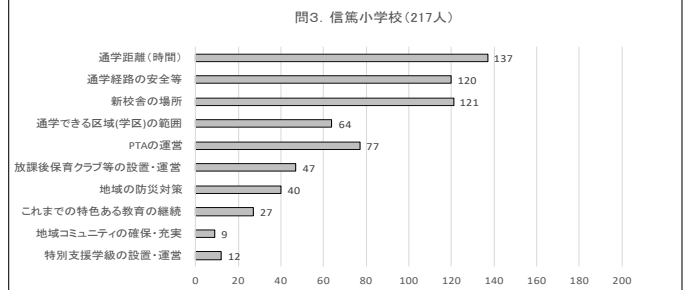
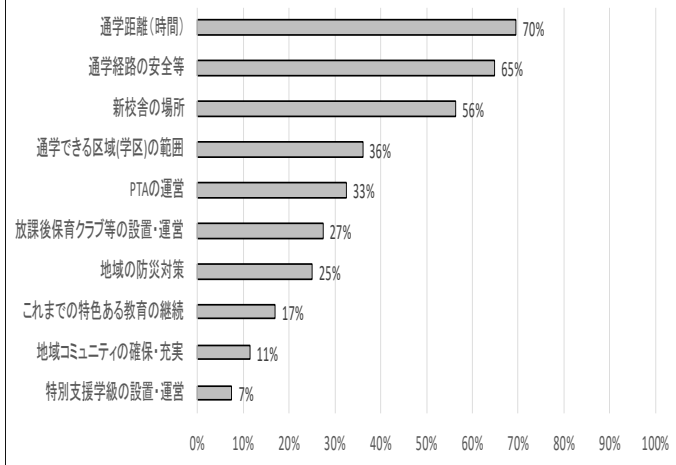


(2) 義務教育学校へ期待すること



(3) 義務教育学校・一体型校舎への不安・課題

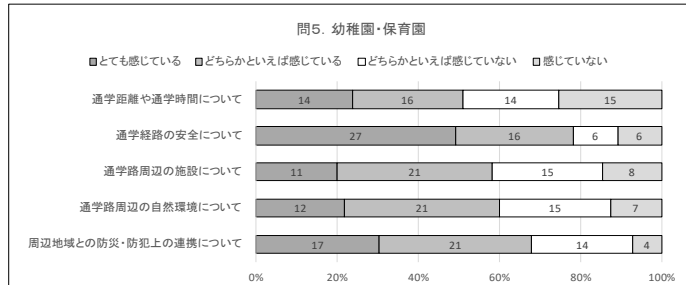
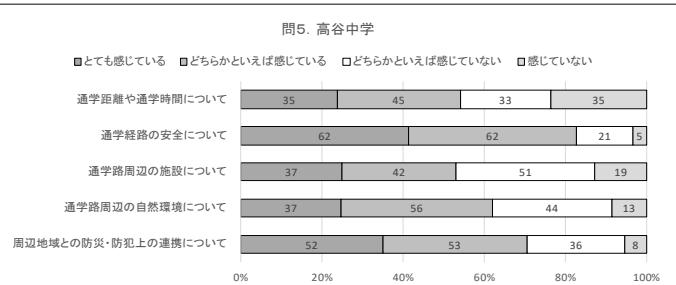
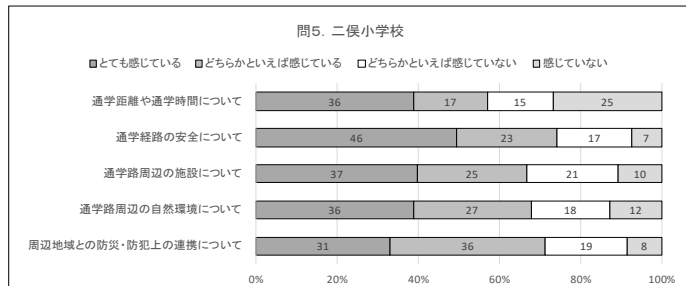
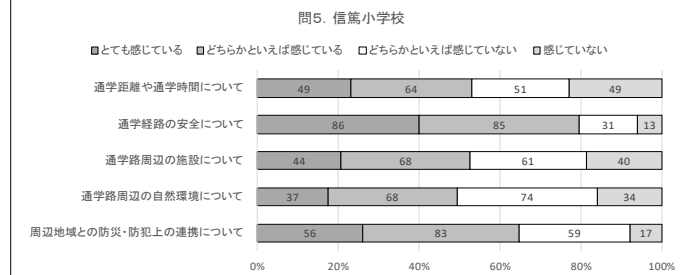
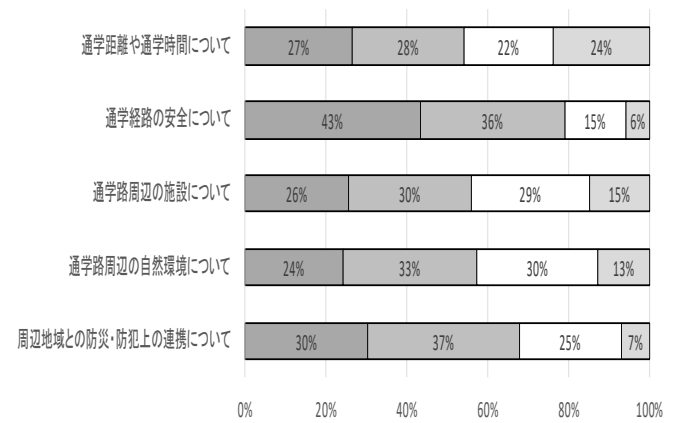
問3. 在籍している学校(入学を考えている学校)が、義務教育学校となり、現在と別の場所に小・中一体型の新校舎が整備される場合、不安に感じること(課題と考えること)はありますか。※ある場合は、当てはまるもの全てにチェックをつけてください。



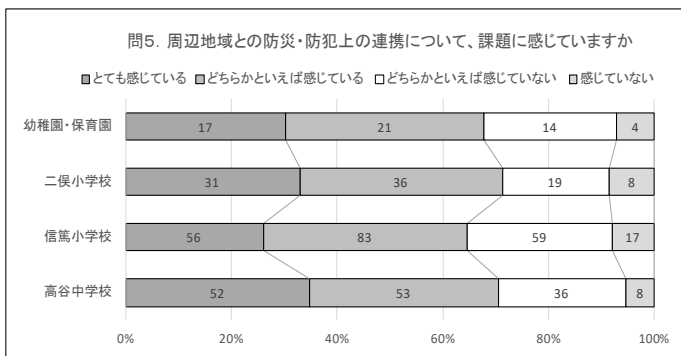
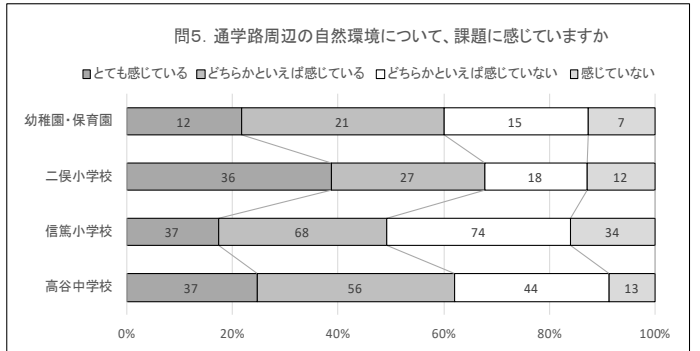
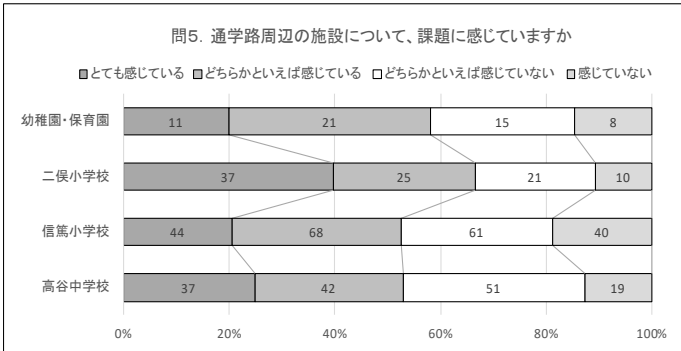
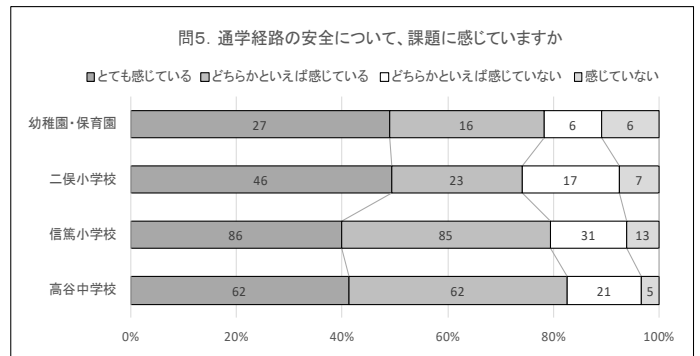
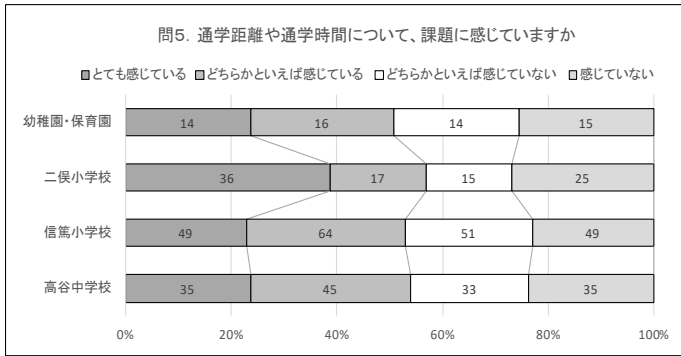
(4) 在籍している学校の通学区域の環境について(学校別)

問5. 在籍している学校の通学域の環境について、課題に感じていますか

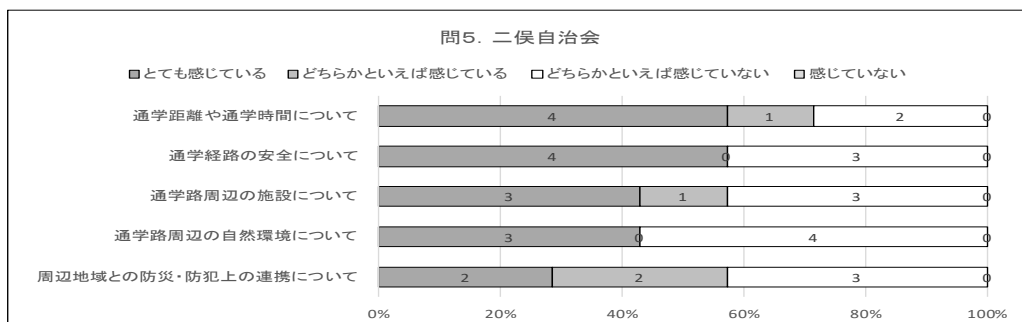
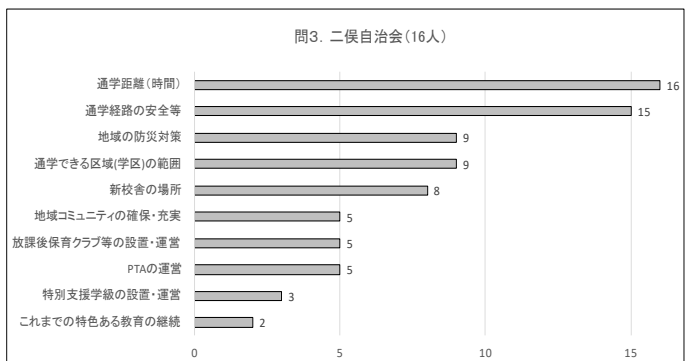
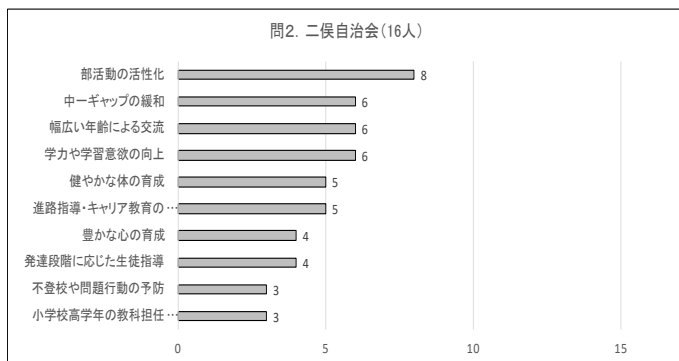
■とても感じている □どちらかといえば感じている □どちらかといえば感じていない □感じていない



(5) 在籍している学校の通学区域の環境について（項目別）



3 自治会（二俣自治会）アンケートの結果



4 保護者アンケートの自由記述

<通学路・通学距離>
○まずは通学路整備が最優先だと思う。特に真間川から高谷中の道は中学生でも危険なのに小学生はもっと危険。真間川から高谷中の道に歩道を設けて整備する。もしくは真間川沿いに新校舎を建設くらいしてくれないと通学路がとても不安。バス通学の意見もあるが、さほど遠くない子や部活で遅くなる子は徒歩になるのでは？そうするとやはり道路整備が最優先に思う。
○信篤小と高谷中は距離も近いが、二俣小は遠い。小規模校が良い特色なのでまとめないで欲しい。
○二俣地区から高谷まで通わせるのは不安しかありません。先ず西船橋寄りの二俣地区に住む現在の高谷中の子供達に一日も早く自転車通学を認めて下さい。何処が通学路になるのか確認して下さい。片道 40 分～と言われる登下校を、あの重たい中学鞆やランドセルを持って一緒に歩いてみるなど実際の状況を保護者と経験して下さい。保護者と共に動いて確認して欲しいです。二俣の何処が危険箇所なのか教えて下さい。
○通学距離の長い子に対策を何がしてほしい。今の学校にも言えるが、欠席の連絡を連絡帳ではなく、メールなどにしてほしい。家が遠い場合や兄弟がいない場合もあるし、その上、親は仕事、子供は学童で帰宅時間が遅いの、欠席した子の連絡帳を持って帰ったりすると正直負担です。本当に近所なら良いけど結構遠かったりするの。
○二俣小児童の信篤小入学許可について疑問。二俣小児童数を減少させたいとしか思えない。塩浜学園の高い効果と手紙に記載あるが、親や児童の声ばかりで進学率等の具体的記載一切なし。二俣1. 2丁目から高谷中まで通う安全面に具体的回答なし。スクールバス案は学童や遅刻早退の時間帯に無し。信篤小、高谷中に近い家庭の声だけでなく安全面が損なわれる家庭がある事を今一度考えて頂きたい。必ず全ての回答を頂きたい。
○高谷の場所に建てて、通う距離は信徳小より遠くなるのは変ですよ？
○二俣小学校に通っていますが、通学路も周りの環境も悪いと思います。小中一貫教育でも良いと思うので、二俣小学校の子供たちの学校生活を安全安心に過ごせるように早くしてほしいです。
○高谷中の周りは、通学するにはあまりにも環境が悪すぎ。信篤学区からはいいが二俣学区からの通学路は子供だけでは不審者が多い。小学生なら尚危険。
○現在も通学に時間がかかっているのに、さらに遠くなった場合、徒歩での通学が不安。仮に通学バスがあったとしても、学童に通った場合も帰りも対応してもらえるのか。小学校は参加行事が多いため、車での手段が必須となるが、整備状況にも不安。
○通学路も人気の少ないダンプが通る道。10年以上前からなにも変わっていません。整備する意識はあるのですか？
○場所が変わるのが困る。通学路が心配。
○通学距離について。二俣小学区内で原木に住んでいるか二俣 2 丁目に住んでいるかによって意見が違おうと思うので、すべての地域の意見を聞いてほしい。・遠い地域にはバス通学を考えていると聞いたが、部活動等で遅くなった児童生徒についてもバスを出すことを考えてほしい。家が遠いという理由のみで諦めなければならないことが出てくるのは不公平だと思う。
○二俣小の児童が高谷中校舎に通うのは物凄く遠くなる児童がいて可哀相です。スクールバスでも出すならいいと思いますが。
○高谷中増築案は通学距離がある事。
○信篤学区に義務教育学校が二校も必要なのでしょうか？二俣学区にもあって欲しいです。
○自宅から遠く、習い事などの時間がかかりきつくなるので車でお迎えしないとイケない。
○低学年の子供の足では通える距離ではなくて通学路についても心配です。防犯面でも心配。
○小学生、特に下級生の場合、通学の距離が遠くなると、いろいろな面で不安です。スクールバスでの通学をお願いします。

○教師不足、児童不足が深刻なのであれば小学校を合併させスクールバスで対応すべき。新校舎建設は税金無駄遣い。
○不安な点は、狭く交通量の多い通学路がさらに延びる可能性があること
○教師不足、児童不足が深刻なのであれば小学校を合併させスクールバスで対応すべき。新校舎建設は税金無駄遣い。
○帰りが遅くなってくると、道が暗いので、危ないなと思います。
○校舎ができる場合、今ある学校より中央に近い場所を希望します。通学路が広い道になる様にと希望します。現在は通学路の道幅が狭すぎると感じます。
○二俣地区の小学生が小さい頃から歩いて通うには遠すぎるとも思います。重いランドセルを背負ってくる負担も大きいし、帰宅時間も遅くなり、安全面も心配です。
○20 分以上もかけて、重い荷物や大荷物で歩く生徒をみるけれど、皆、姿勢が悪い。前屈みになって歩いている。荷物が重いので仕方ないとはいえ見苦しい感じがする。夏場などは、遠い距離を大荷物でかわいそう。自転車通学、またはスクールバスがあればいいのに…と思う。
○高谷中の周りは、通学するにはあまりにも環境が悪すぎ。信篤学区からはいいが二俣学区からの通学路は子供だけでは不審者が多い。小学生なら尚危険。
○低学年の児童の通学環境が、不安な地域でもあります
○通学路の安全の確保についてはどう考えているのか詳しく聞きたい。
○往復一時間半程度かかるため仕事から帰宅後学童にお迎えに行ける距離ではない 雪や台風、災害時困る・時間内にお迎えに行けない・下の兄弟連れて長距離お迎え出来ない・習い事などで途中で学童から帰してもらう時も危険、習い事どころか遠過ぎて家に帰れない
○新校舎の設立によって、通学距離が遠くなってしまった場合の対処方法を明確にしてください。スクールバスが出るのであれば、経路や停留所等の意見も聞いて欲しい。
○安全な通学方法確保学童お迎えに行ける距離ではない行事、人数が多すぎて、混雑、我が子を探すのが難しい可能性がありゆったりと見れない
○遠くて学童お迎え行けない・行事、人数が多すぎて、混雑、我が子を探すのが難しい、遠くて連れて行くのが困難・二俣小学校でやっているバスケットクラブや夜のバドクラブに参加させることも検討しているが…また存続していても子供達で移動できない・現在保育園で運動会の時など小学校の体育館を借りてやっている
○通学距離が離れている子スクールバスを出すなど対策してほしい。
○設置に対して賛成ですが、中学の学区となると通学範囲が気になります。通学方法について安全を確保していただき検討をお願いします。
○習字道具、絵の具セット、プールバックを持って登校している子供をみた事がある。転んでも、両手は使えなさそうです。不審者などがきても、逃げることもできそうにない。スクールバスがあればいいのに…と思います。
○現在姉が信篤小ですが、今でも通学距離が遠いので、高谷中側に新校舎が出来るとなったら小学生の足では大変な気がする。
○女子が冬の部活動後一人で帰宅しても安心な通学路があれば何も言う事ありません。
○スクールゾーン設置や、登校下校時間帯の車の通行禁止です。
○二俣区域なのですが、信篤小学校までの通学路で変な人に声をかけられた事があり、低学年児に通わすのは反対です
○市川市の端っこに住んでいます。今年産まれた子が居ます。兄も居ます。二俣小まで通学するにも、京葉道路など大きな道路を渡ることになり、低学年のうちはかなり不安です。高谷中の場所になると一年生だと 1 時間ぐらいかかる距離です。スクールバスの確約でもない限り、そこに行きたいとは思いません。船橋市の小学校の方が近く安全なので、そちらに行けるよう融通して欲しいです。
○単純に教育者不足によるものであればやめていただきたい。

○現在の住所からは更に遠くなり、小学生では交通量の多い道路を通学するのは危険。またクラブなどもやれば、帰りも遅くなるので危険要素は増します。
○義務教育学校の内容次第(独自教育やプログラミングなどの専門知識の習得)では、安全の確保(スクールバスや登下校の安全確認者、雨や台風時のネット教育利用)ができるのであれば期待するものもあります。
○通学距離がかなり遠くなります。近隣市外の学校への通学を、無条件許可頂くこと、及び市外の学校への働きかけを強く望みます。
○通学路は暗く、死角になる場所も多い。歩道もなくトラックも多い。少しの雨で膝上まで水没する。災害も増えているが、避難場所等にならない。
○現在通学している学校、そのままの場所で義務教育学校になるのなら賛成ですが、高谷中にできるのであれば転校したいです。高谷中までの道のりはとても歩かせられません。越境通学について柔軟に許可を出していただけるのか気になります。船橋の葛飾小の方が断然近いので、船橋で受け入れてもらえたら一番良いのですが。無理なら電車通学で行徳小か信篤小に通えたら安心です。
○子どもの安全を第一考えると、小学校が遠くなるのが一番心配です。スクールバスが運行できるお金があるなら、交通指導員を学校に配置してください。
○来年小学校入学を控えています。二俣小と信篤小も自宅からどちらも同じくらいの距離です。二俣学区ですが、通学路はトラックが多く危険で、クラスの人数も少ないので、信篤小と合併になればいいと考えています。
○入学予定の小学校ではなくわざわざ新設するのであれば、どんなに教育的なメリットがあっても小学校低学年が無理なく安全に通学できる場所でない、安心して送り出すことはできません。通学路に関しては交通量の安全性はもちろん、その地域の不審者情報までも考慮していただきたいです。

<施設・場所>
○小中一貫校にした場合、学校規模が大きすぎないか？大規模ほど荒廃している事が多く、世界的には小規模校が当たり前で WHO も推奨しており、学習効果も高いデータが出ているのに、なぜ大規模にする？校庭や体育館が不足して休み時間に子どもたちが自由に遊べないのでは？学区が広すぎて地域の繋がりが防災に支障をきたさないか？小中一貫を否定はしないが、もう少し小さい規模の学校にするべきだと思う。
○二俣は高谷と一緒にするのに、信篤と分離するのに違和感を感じる。二俣と信篤を統合し信篤へ、高谷を二俣に移転、高谷中跡地に学校を建設し、統合した方がよいと思う。
○二俣から通いやすい場所、信徳公民館あたりや、京葉道路沿いなど。今の高谷中の場所は、やめてほしい。若しくは、二俣の場所に高谷中を持ってくる。幼稚園もいつのまにか、休園から廃園になっていたのも寝耳に水でしたが、幼稚園と二俣小の敷地を使えばかのようなのでは？それとも教育のためではなく、あの土地を売りたいだけ？
○二俣小学校がなくなる前提で話が進んでいるように感じるが、スクールバスを出すような話もされていたが、現実的には、旧二俣幼稚園の場所もあり道路も新設できるし、新しい校舎の場所も確保できると思う。
○新校舎(現中学校)まで通学するのであれば(どうせ同じ距離通学するなら)信篤小に通わせたいと考える保護者の数も増加すると思う。その場合は届け出れば変更できるのか？さらに人数減少に繋がるのではないかと思う。
○完全な一体型学園にしないと意味がないと思う。中一ギャップや信篤学区の小学生が合流した後の小学校学区派閥(特に信篤の保護者の圧が凄い)が根本的に解決しないと思われる為。
○制度自体は歓迎しますが、子供の通学を考えると、説明会で提示された高谷中での設置は受け入れられない。
○新校舎の場所(安全面)。

○二俣小と高谷中が一緒になっても二俣小の子達はしんとく小に結局越境して行ってしまう子がたくさん出てしまうと思います。
○早く実現してほしい。学童のことも一緒に検討してほしい。
○義務教育学校設置の提案の場所について、不安と疑問があります。
○一体型校舎を新設する場合は、信篤小・二俣小の生徒達が通いやすい位置にあって欲しいです。
○義務教育学校になるのは良いが、場所が高谷中になるのは大反対
○今ある校舎を有効に活用しての、小中一貫教育の方法を考えて欲しい。新校舎の設置の費用等、問題が色々あると思うので、もっと議論をちゃんとして欲しい。ちゃんと保護者の意見を聞いて欲しい。ちゃんと伝わっていないと感じている。最終的に校舎一体型を仮で提案しているが、可能性としてできるのか知りたい。
○まだ土台がしっかり出来上がっていないであろう新体制の学校に、我が子を通わせるのは不安。
○体育館や校庭の利用頻度が減るのではないかと懸念、
○高谷中学校ブロックは用途地域も設定されず、学校周辺の環境が劣悪で長年改善されていない。義務教育学校の導入を含め、学校施設の新設や通学路の再検討をすることが、子供達の生活環境の改善に非常に効果があると思う。市川市の街づくり担当部も含めて、取り組んでほしい。
○小中一体型にすることで9年という長い目で教育を見られる反面、転勤・受験等では他校とは区切りが違うのでデメリットではないかと思ってしまう。信篤小学校だけが別というのは一体型といえるのか疑問も持つところだ
○小中一貫校と言って信篤小学校だけ今までの場所に置かなければそれもまた意味がないのではないのでしょうか。ただの税金の無駄使いになると思います。
○現在、在籍している小学校ごとに校舎を決めるのではなく、学年ごとに校舎を決めて欲しいです。例えば、5、6年生から中学校の校舎に通うと言うのであれば、中1ギャップへの対応という意義があると思います。二俣小のみ中学校に移設と言うのであれば、信篤小は現在と何も変わらないので、無理に一貫校にする必要は感じられないです。
○一貫教育を希望するか、学区をどうするか、選択制にしてほしい。調整区域で暗い、海拔が低い、外環の渋滞と埃だらけのエリアに通わせたくない。
○現在の案では、信篤小だけ離れた校舎になり、中学校の教員が授業を見る事が負担になり、学力の向上は望めないと思います。低学年は信篤小にまとめ、高学年の校舎を高谷中の敷地に建てる方がいいと思います。校庭の遊具などもそのまま使えるので、費用も抑えられると思います。
○歴史ある校舎が変わるのは寂しい。子どもの人数は莫大に増加する見込みはないのだから、今までの校舎を有効活用してほしい。冷房付きの体育館や部活独自で利用できる練習場などがほしい。
○設置の形として、「高谷・二俣小一体型校舎と信篤校舎の2ヵ所」で運営すると、高谷と信篤の繋がりはあまり無いのではと感じます。3校一体型の校舎が出来てからでも遅くはないのではと思います。
○設置に関しては賛成ですが、この周辺地域(原木、妙典)には先に情緒に関する特別支援学級及び通級指導教室の設置を中学校に行って欲しかったです。
○信篤小学校の保護者です。校舎が別なままでしたら、一貫校には反対です。中学生になった時に校舎が変わる事は子供にとって、大きな環境の変化です。二俣小はすでに馴染んでいるなかよけいストレスを感じるのでは？
○二俣小と信篤小の1～5年生を信篤小校舎へ、残りの6～9年生を高谷中に入れる方が色々な意味でスムーズに移行できるのではないかと思います。
○同じ学年の子供たちが別の場所で学ぶこと(二俣小が高谷中学で学ぶ)に違和感を感じます。それでは一貫校にするメリットは感じにくく、学年で校舎をわける方がいいのでは？
○信篤小学校、二俣小学校、高谷中学校の義務教育学校の設置をぜひ進めて欲しい。その場合、3校が同じ校舎で学ぶ一体型校舎を整備するべきであり、そうならないと義務教育学校設置の意味がないと思う。

○高谷中学校ブロックで中学に新校舎を作るとなるとお金がかかるので、小学校は信篤小学校に二俣小が合体するほうがいいんじゃないでしょうか？二俣小学区の距離や安全などは改善はあると思いますが、ある校舎は使っていったほうがいいのかと思います。
○9 年同じ施設内ならば、よい効果があるかもしれないが、片方の小学校は中学校と合同校舎、もう片方の小学校は何百メートルも離れた校舎だと、離れた方にあまりメリットが感じられない。人数が少なくなってきたから統合したい、義務教育学校を市として進めたいように見える。まずは、小学校全児童が同じ中学校に行く校区から始めれば何とかなるんじゃないかと、子どもたちのことは深く考えずに統合ありきに感じてしまう。
○やるのであれば、一体型校舎でないと意味が無いと思う。小学生と中学生で別の校舎にしてしまつては、一体感を阻害し、中一ギャップの緩和には、さほどの期待が持たれないと思われる。また、信篤校舎を別にすると前述と同様一体感が持てなくなると思われる。
○一体型校舎にする敷地はあるのか。
○校庭、体育館は、授業や部活でうまく流用出来るのか。
○設置場所について、どこになるのか
○学童の場所あわせて検討してほしい。
○新校舎は小中一体型に意味があると思いますが、別になると一体型の特色や運営面で負担があると考えます。別にするならば一貫校に反対します。
○体育館等施設利用の調整が難しいか。
○校舎を建設するなら、今のような区切られた教室ではなく、誰もが目に届くようなイジメがあつたらすぐわかるような工夫した校舎にして欲しいです。
○小学校から中学校になる卒業や入学式ってのを味わわせてあげたい校舎が別れているのも気になる
○義務教育学校になった場合は、どこに新校舎ができるのか不安です。これから入学になるので具体的に早く決めてほしいです。

<学習・学力>
○二俣小児童の学力の低さに不安を感じています。きめ細やかな指導による学力向上を期待したいです。また児童数の少なさは、小規模だからこそその良さがあるというレベルを超えています。通学や学童保育、PTAなどにさまざまな課題はあると思いますが、当事者である子ども達がとても期待、賛成しています。実際に通うのは子ども達です。豊かな子育てを実現させる為に早急に運営を開始していただきたいと思います。
○ひとクラス人数が多くて子ども全員に目が行き届かなくなるのではないかと不安です。
○小学校高学年では外国語や道徳の教科化などで余剰時数が減ってきています。またそれに加え、習い事などにかかる時間が昔よりも増加していることで子供の生活に余裕がなくなっていると感じます。小中一貫教育で児童がのびのびと過ごしたり、課題に対して試行錯誤したりする(失敗する)時間を確保できるのであれば是非通わせたいです。
○詰め込み授業だけでなく、自発的に創意工夫、発想できる幅広いカリキュラムを選択できるようなシステムの構築を望みます。給食は子どもの成長に促した適切な栄養価のあるものをお願いします。
○児童生徒の学力水準にばらつきが生じたり、9 年間で差が拡大しないか。
○転校した場合、授業で苦労しないか。
○小学校からの教科別の教師の配置。
○学科を教える先生と生活指導をする先生を分けて欲しい。一人で全てを賄うのではなく、スペシャリストとして対応出来る人材を複数配置して、生徒が何の不安もなく学べる環境をつくって欲しい。

<教員の負担>	
○施設一体型小中一貫校はいらないです。9 年間は長すぎる。自分の子ども時代の経験から考えても、学校に行きづらさを感じている子どもにとっては「生き地獄」だと思う。現状の三校体制のまま連携を進めて欲しい。また、一貫校になっても教員の定数が増える訳ではなく、中学校の先生の業務が増え、多忙に拍車がかかります。小学校に講師を派遣するなど、建物をつくるより、人的配慮の方が優先だと思います。	
○塩浜学園がうまく行ったからと昔と違って先生の異動や退職が多く感じ一年ごとや最悪一年立たないうちに担任が変わったりすることもあるので教職員の指導面では意味がないことだと思います。	
○先生方の負担が増え、子ども達ひとりひとりに目を向ける時間が減るのではないかな。	
○高谷二俣校舎と信篤校舎の 2 ヶ所での運営が本当に可能なのか、不安です。2 校舎間の教師の行き来はなんとかできたとしても、児童生徒間の密な交流は難しい距離ではないかと思います。	
○中学校の先生方の負担増が心配です	
○新しい試みに、興味深くみさせてもらっています。課題にあった、教員の多忙感により、学習や生徒への対応が十分なのか気になりました。また、先生方も余裕がないと、大丈夫なのかなと思います。	
○義務教育学校には賛成ですが、先生方の負担が増えることで子供一人ひとりへの対応が手薄にならないか心配です。教育改革が著しい時期の中での一制度なので過渡的な状況だと思いますが、関わる方には深く知る機会を設けていって欲しいと思います。(現場の方だけでなく、保護者も含めて)	
○教育施設のスマート化により期待される、教員数の充実など、子供たちの環境面でのメリットが『義務教育学校の概要』を見ると、教員の時間を圧迫していたりと逆効果になっているように思えてならない。	

<特別支援>	
○学校を選んで入学したため(特別支援級)、合併したらとようになっていくのか不安がある	

<生徒指導>	
○いじめが心配です。小さい体の 1 年生と大きな体の中学生までの縦割りはとても不安です。みんなが優しいわけではありません。もし、じゃれあってうまのりでもされたら、小さい子は心も体も傷つき大変なことになるかねません。思春期を迎える子供は本当に大変です。少しのことで感情が抑えられないことがあり、不安定です。問題も起こりやすいのでは？何かおきてしまってからでは遅いと思います。	
○中一ギャップの緩和は、単一小学校の場合には期待できると思うが、2 つの小学校(特に人数の差が大きいケース)で人数の少ない方の小学校と小中一貫校となる場合は、あまり期待出来ないのではないかな？	
○また、中一ギャップの緩和といいますが、社会に出たらギャップばかりです。大人になるにつれてコミュニケーション能力を高めるためにも、中学校入学時からこれくらいのギャップは経験しておいてほしい。ギャップの緩和をこのように大人が調整するのはよけいな世話、甘やかせ過ぎな考え。	
○中学生生活おくるなかで校舎が変更したり、小学生が入ってきたりと変化がありすぎて先生達や子供達が順応できるのかが心配です。受験前などで心配事がたくさんあるのに他の事でバタバタしてほしくないです。	
○中1ギャップとありましたが、途中で校舎を移動したらその年の児童は新しい校舎と環境ギャップになりませんか？中学生でさえ環境の変化などで中1ギャップがあるのなら、小学生が新たな環境に移るのはかなりの負担になると思います。途中で校舎が変わるのは正直不安です。	
○公立中学校内に小学校が入るとするのは非行の低年齢化が心配です。中学生と小学生が同じ敷地内に居るといふのは小学生にとって悪影響にしかない。反対です。	
○女兒と中学生男子が一緒に不安。	
○発達した中学生の言動が小学生へ悪影響を及ぼさないかということ	
○低学年が高学年から学べることは多いと思うが、例えば中学 3 年生が小学 1 年生から学ぶことは少なく、逆に中学生の貴重な時間を削り子供の相手をさせられるように感じてしまう点です。	
○いじめ問題が発生した場合の対応が、児童の数が多い分不安がある	

○中学生と一緒に過ごすことに利点を感じない。むしろ悪影響がないか心配。小学生が小学生らしく過ごせる環境を壊さないでほしい。
○反対です。小1と中3のギャップが大きい。中学生は勉強に集中できない。
○いじめ問題が起きないか？途中で転校して来た場合、仲間に入りづらくなるのでは？
○一貫校は小さい頃から見えて頂けるので生徒の事を良く理解してもらえと思うのですが、中学校に入って不安ながらも、新しい環境で友達を作ったりして、コミュニケーション力を養うのも大事な気がします。
○子供が中学生生活を送っている間に学校の場所が変わったり、小学生と一緒にあったりと変化がありすぎて先生達も子供達も対応できるのかとても不安です。
○いじめ問題なども長引く恐れがあると思う。
○小学校でいじめなどの問題があった場合、中学校終了まで同じメンバー同じ校舎で過ごすことになる、心機一転するタイミングがなくなるのではと不安に思いました。
○小学校の卒業式や中学校の入学式等節目がないので、小6で卒業できないといつまでも小学生気分で行われ、高校にすすんだ時に周りについていけなくなると思われます。
○昨今起きている登下校時の犯罪や事故を考えると、教育以前に子どもの安全確保が第一だと思います。またそれを考える時に高学年で考えるのではなく、低学年ではどうなのかを考えていただきたいです。小中一貫校にするとクラスあたりの人数が増えるので、先生や友達同士の関係が希薄になったり目が行き届かなくなることが十分に考えられます。勉強や教育も大事ですが、まずは人間関係を学ぶ場が必要と感じます。
○同じ友達との交流になり世間が狭くならないか？
○入学予定の小学校は既に児童数が多いと聞いている。新設校が、1つでもできることで、個々の児童へ、柔軟で、きめ細やかな指導が行われるきっかけになればと思う。
○生徒が変わらない事でトラブルが起きた場合の対処
○何か問題が起きた時、子供又は保護者が気軽に相談できる窓口。
○目が届きづらくなかないか。人間関係に何かあった場合、リセットする機会がないのではないかな。
○思春期・反抗期に当たる中学生の悪い影響を受けないか。
○中1になると急に先輩後輩の上下関係が厳しくなり、小学校とのギャップで不登校になる子供がわりといた。海外のように幅広い年齢でも気軽に交流できるような雰囲気の学校作りをしてほしい。

<学校運営>
○運動会などの行事も小中一緒に行うのですか？小6で卒業式はしないということですか？部活も小中一緒に活動するのでしょうか？
○少人数だからこそより良い教育だと思っております。長男の時は人数が多くいじめを訴えても学校は見えてくれることはなく、登校拒否になったあともケアはうちだけ先生と話し、以後三年間同じクラス。信篤まで入れる必要はあるのか疑問で二俣は人数がすくないのでありかとも思います。
○小学校では学校の楽しさを。中学校では社会の厳しさを。小中一貫校で相対したこのシチュエーションをかもしだすのは無理。
○現在保有の役員のポイント。部活動の活動場所、活動日数確保これらが今のまま何も変わらずいられるならいつでも併合して構わない。
○小学生から部活は必要ない。基礎学習と遊びが重要。
○小中一貫での教師の負担は重く更なる人材不足及び質の低下を招く。
○小中一貫になった場合の運動会の開催の仕方が気になります。
○中学1年生を？？7年生と呼ぶような話を聞いたけど、節目としたいので、中等部1年生など、教育は一貫して良いが、節目は残してほしい。今日から中学生！大人へ近づいたと自覚してほしいため

○部活動の開始学年が 5 年生になり、大会などにどのように参加するのか、地域活動(フットベースやサッカー)に参加しづらくなるのではないのか？
○説明会で 5 年生から部活動に参加と聞きました。どの様に参加するのかと、地域のスポーツ(サッカーやフットベース)との卒業時期の違いにより学校以外の地域活動の低迷にならないのかと思いました。
○今の、中 1～3 の制服がどうなるのか気になります。兄弟のお下がりが今まで通りできるのか、それとも制服が変わってしまったたり、もしくは私服になってしまうのか。
○高谷中内の二俣小と別校舎の信篤小で学力の差も生まれてくる気がします。
○体育祭や予餞会、合唱祭などの中学での大きなイベントはどうなるのか、疑問です。
○反対です。小 1 と中 3 のレベルが違いすぎる。特に中 3 は受験に集中できない。
○中学生の制服 運動会、合唱祭等、行事の内容はどうなのか。
○義務教育学校は制服になるのでしょうか？制服だととってもありがたいのですが。
○中学校から着用していた制服はどうなるのでしょうか？卒業するまで制服なしになるのでしょうか？
○小中一貫校となる場合、学力や部活等何か特色のある学校として欲しい
○運動会や発表会など規模が大きくなり過ぎるのでは。小、中のように分けてもらった方が運営、生徒、保護者の負担は無いと思います。
○ランドセル、制服はどうなるのか。
○制服があるといいです。
○一貫教育になる事でいじめの助長、逃げ場のない閉塞感が出る事を懸念しています。
○小 1 と中 3 では差がありすぎて同じ活動をするには無理がないのか。

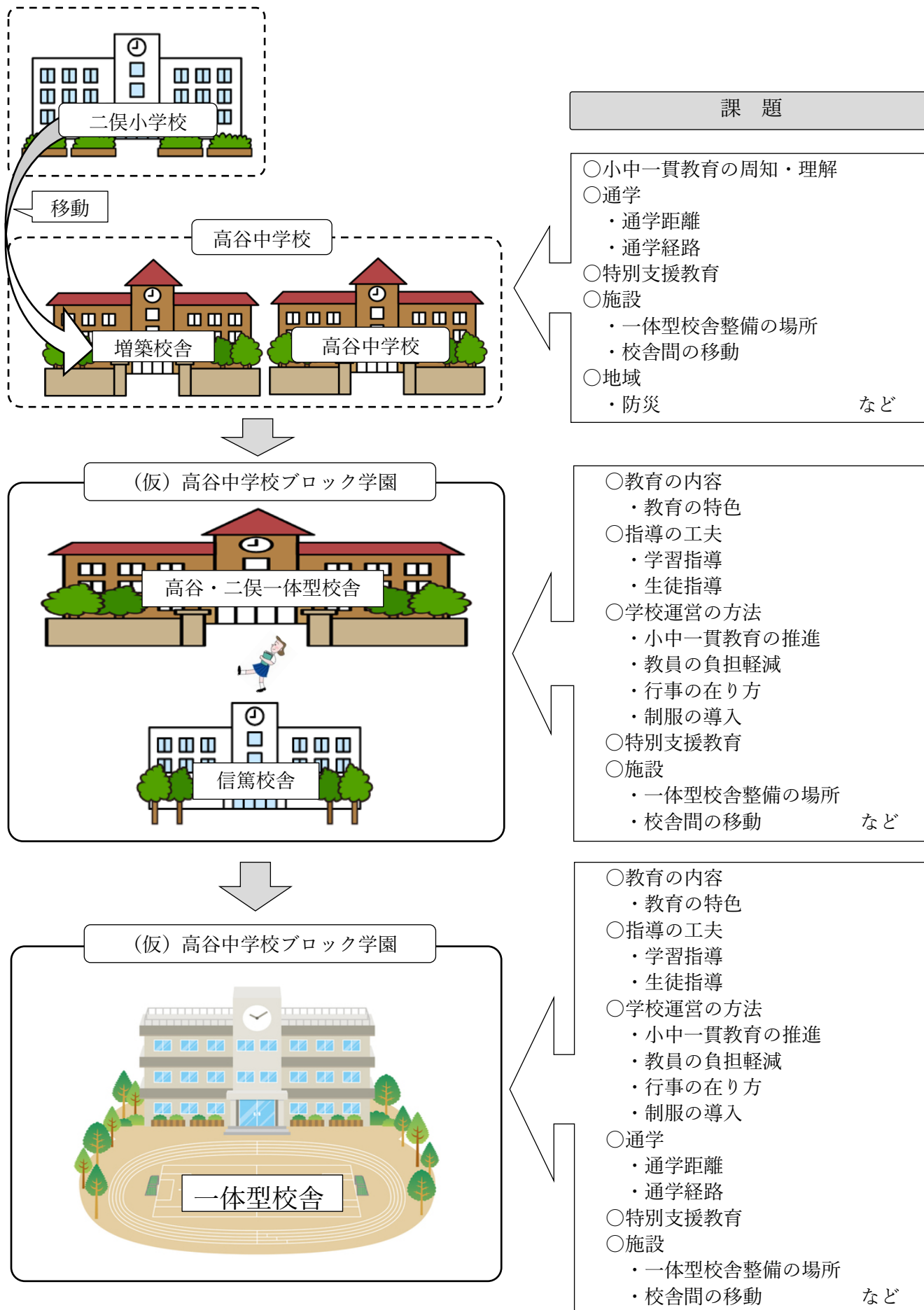
<周知>
○塩浜学園を設立する際に出た、様々な課題とその課題をどのようにクリアしていったのかの資料を開示してほしい。
○アンケートを答える前提として未解決事項が多すぎる。良いことしか書いてないように思われる。
○二俣小での説明会に参加しました。混乱を招くような意味不明な説明会は開催するべきではないです。案を提示しに来ているというならもっと詳細な工程を提示するべきだし、質疑応答をするつもりなら色々な角度からの質問に答えられる人員をピックアップして来るべき。
○二俣小での説明会に参加しました。混乱を招くような意味不明な説明会は開催するべきではないです。案を提示しに来ているというならもっと詳細な工程を提示するべきだし、質疑応答をするつもりなら色々な角度からの質問に答えられる人員をピックアップして来るべき。
○説明会ではご提案という形で強く仰っていましたが保護者の間では令和四年くらいには決定している事だという情報も入ってきます、情報が色々錯綜してしまい混乱してしまいます。既に決定している事があるならば正式な形で公表すべきだと感じます。
○今ある校舎を有効に活用しての、小中一貫教育の方法を考えて欲しい。新校舎の設置の費用等、問題が色々あると思うので、もっと議論をちゃんとして欲しい。ちゃんと保護者の意見を聞いて欲しい。ちゃんと伝わっていないと感じている。最終的に校舎一体型を仮で提案しているが、可能性としてできるのか知りたい。
○期待される効果がどれだけあるのか。市内には塩浜学園しか事例がないこと、先生方は慣れてない中で教育をするということに心配がある。
○何年後くらいに実現しますか？設置に向けたスケジュールなどの見通しが知りたいです
○設置ありきで議論が進んでいるように感じられて、性急な結論に不安を感じます。ハード・ソフト両面で幅広く意見を募り、そもそもの設置の必要性や方法などしっかりとプランをした上で進めてほしいと思います。

○なぜそうなったのかよく理解できません。本当に効果があるのか、塩浜学園のアンケートは信用できない。もう少し掘り下げて説明があっても良いのでは?設置に反対の人が多ければ計画は白紙にならないのか?二俣幼稚園の建物や近隣保育園等他に取り掛かる事があるのではないのでしょうか?
○卒業まで環境が変わらないかが心配。
○ポジティブな側面だけでなくネガティブな側面についても教えていただきたい。
○義務教育学校についての効果・メリットがイマイチわからないので、効果や今との変更点など知る機会を何らかの形で設けていただきたいです。
○今までと何が変わるのか、どんなメリットがあるのか等不明なことばかりなので、通学可能範囲か、交通の安全は?等そういったところばかりに目がいってしまいます。なぜ今のままではダメなのかなど詳しく教えてください。
○具体的展開事例を発信して頂き、義務教育学校化での成功事例を教えてください。ただし、義務教育学校化による先生の負担増が懸念課題があるので、一律のやり方ではなく、同じ市内行政でも地域特性に合わせた運用や、ICT 化による事務処理を簡略化できる環境を整える、私立校の小中一貫校へのベンチマークによる先生たちへの理解度向上を図る勉強会実施など、指導者からの視点にも配慮した運用を段階的に行う必要があると考えます。
○塩浜学園は、近隣の公立学校で生徒指導上の問題がある児童生徒が転入している実質上「受け皿」となっていると聞きましたが本当でしょうか。何のための義務教育学校なのか不安です。きちんと住民へ直接の説明をお願いしたいです。
○義務教育学校の利点がそこまであるとは思えず、なぜ推進するのが説明文ではよく分からない
○小中はいいが、高校に行ったときに上下関係や他の学校とは違うと言ったギャップに苦しみそう。小学校低学年が急に心の発達をとげる事に対して 他者の意見、現場の声をききたい。
○義務教育学校がどのようなものなのか、はっきりと明確にわからないため、小・中学校が別の場合と、どちらの方が良いのか、いまは何もいえません。
○資料が少なくて回答に困る。
○学習効果を示すなら、定性的なデータだけではなく数値も出すべき。自己肯定感の高まりと幅広い年齢による交流の因果関係も不明。アンケートの選択肢が限定的。この内容で義務教育校の設置云々を問われるのは遺憾。
○アンケート等で出た意見のうち、マイナス評価や改善の希望があった場合には、少数でも貴重な意見としてきちんと検討されているのか、または情報としてのみ処理するために聞いているのかが知りたい、また、それによって意見の出し方が変わるので、先に明確にしてもらいたい。
○メリットなどを詳しく説明会などで説明してもらえるとわかりやすいです。

<その他>
○二俣小学校がなくなるのは反対だけど、高谷学園になる事は 決まっている事だと思う。二俣幼稚園の時も意見交換した後、すぐ後に休園と言われた。決まっていたとは思えない。休園に関しても 稲荷木幼稚園を閉園にした時に地域の人から 物凄く苦情が来たから 二俣幼稚園は 事実上は閉園だが、建て前上 休園にしたと聞いている。
○義務教育学校になっていく事に異論はないが設置場所は、慎重に進めて。
○小中一貫と言われても、正直よくわかりません。
○義務教育学校設置ありきの計画ではなく、通う事になる児童・生徒・保護者の意見を取り入れながら計画を進めていただきたいです。
○二俣小在籍中の保護者です。先日、開催された説明会・検討委員会だよりでより義務教育学校設置の必要性などが理解出来ました。

○協議の概要を読んでも、分からないのにとりあえず進めてみようということが書かれているので、デメリットはないのか、もしあるなら、どのデメリットを上回るメリットがあるのか、どうすれば解消されるのか、ということが、ちゃんと検討されているのか見えてこない。読み取れる範囲では、信徳側には、それほど変わる部分はなく、高谷・二俣一体型校舎に、後から参入する形になり、疎外感を感じるのではないかと不安がある。
○子供にお金をもたせて登校させることに不安があるため、集金ではなく口座引き落としにして欲しい。
○同じ学区とはいえ、3校とも隣接しているわけではないので一貫にするのは今の時点ではあまりメリットを感じない。
○中高一貫校入学児童は転校になるのでしょうか。大学受験を見据えた教育計画がある家庭にとっての影響度が不安です。
○正直に言って、少子化に伴う教育現場の縮小化は時代の流れとして仕方がないことなのかとは受け止めています。ただ、実際に我が子はその変革期の渦中にいる立場から思うのは、変革真っ最中のあらゆる仕組みが整わない環境に、巻き込まれなくなかったな、という事だけです。
○正直、目的がよく伝わってこない。中高一貫校が増えている中、どうなのかと思う。当方は中学受験をするため、あまり興味をもって話を聞くことができない
○通学距離等多少の不便を感じても、子供がより良い教育を受けられるようになれば幸いです。不便といえば、通学距離はけっこうあるのに、途中コンビニ等に寄ることは禁止、学校のトイレは寒くて冷たくてその上和式だったり、お腹が痛くなっても大抵我慢するようです。長い学校生活の居心地を左右すると思うので、せっかく新設するのであればトイレ環境はなるべく良くしてあげてほしいです。
○小中一貫教育賛成です、是非すすめてください。
○体育、音楽や美術など他にも有りますが、特に専門性が強い教科は早い段階からより専門的に学ぶ方が良さそうです。
○私立でない小・中一貫教育の意義がわからない。設置に関してではないが、「信篤」という名前が無くなるのは残念です。
○義務教育学校になっていく事に異論はないが設置場所は、慎重に進めて。
○生徒数を考えての事で今回、こういう案が出たけれど、地域的に失敗に終わると思う
○アンケートをやる趣旨がよくわからない。
○小中一貫校にする前に、二俣小の生徒を信篤小に通ってもらうことは出来ないのか
○他の中学校(公立)に通いたい時スムーズに転校？できるのか不安です
○小学校が近いところを選んで家を買った・一貫校取りやめしてください
○転勤がある家庭の場合、転校によりカリキュラムの履修漏れやその地域コミュニティへの入りにくさなど不安点も多い。
○取り組みは良いと思うが、全国で統一して進めてほしい。
○1年生と9年生では体力にも体格にも差がありすぎて休み時間に同じ空間で同時に遊ぶとぶつかるなどで怪我しやすくなるので危ないです。
○早めに実現してほしい。
○信篤小はセキュリティ面が不安なので校舎を建て直す際はセキュリティを万全にしてほしいですし、校庭も都内のように砂はやめてほしいです。
○学費に関しては義務教育といえど、支出が発生することも少なくなく、完全無償化を希望します。
○小中一貫校はいりません。デメリットの方が多いです。莫大な公費をかけて作らないで欲しいです。小中連携で十分です。そもそも保護者のニーズは中高一貫校や保育園の待機児童解消にあります。
○200字では足りません。一般の意見を取り入れ十分な議論をお願いします。

5 義務教育学校の設置に係る課題



6 今後の協議の進め方について

- 検討・協議は、丁寧な、相応の時間をかけて進めます。
- 中学校ブロックごとに「小中一貫教育推進計画」を作成します。
- 計画作成の協議の中で、以下の点を明らかにします。
 - ① 小中一貫教育推進の学校体制の在り方（義務教育学校の設置 等）
 - ② 学校体制の在り方を具現化し、実効性を高める学校施設の在り方
 - ③ 学校体制及び学校施設の在り方を具現化する上で生じる課題の解決方策
 - ④ 学校体制及び学校施設の在り方を具現化するためのスケジュール
- 推進計画に沿って、小中一貫教育の推進（義務教育学校の設置等）に向けた具体的な取組を進めます。

【検討・協議の流れ】

新しい時代を見据えて、児童生徒に必要な資質・能力を育成する



○小中一貫教育を推進する

- ・学校段階間の接続の重視と、義務教育9年間の系統性・連続性に配慮した教育活動の推進
- ・義務教育9年間を見通した教育課程及び一体的な指導による学びの連続性の確保

市川市の方向

- 教育振興基本計画「教育の接続化」
 - ・中学校ブロック単位の指導の一貫化
 - ・進学・進級時の滑らかな進学
- 義務教育学校の設置に関する方針
 - ・小中一貫教育の推進

国の方向

- 新しい学習指導要領
 - ・「学校段階等間の接続」の明示
- 中央教育審議会
 - ・小学校高学年教科担任制の導入（R4）

<令和2年度>



① 学校体制は…

② 学校施設は…

③ 課題解決の方策は…

④ スケジュールは…

○検討委員会
・検討・協議

○教育委員会事務局
・案の作成及び提示
・協議事項の具体化



小中一貫教育推進計画の策定